

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	ウイルス感染症に対する T 細胞応答の解析 (同上)
研究期間 (西暦)	2016 年度 ～ 2023 年度
研究機関名	国立感染症研究所
研究責任者職氏名	室長 立川 愛

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

私たちの生活環境の中には様々なウイルスが存在していますが、正常な免疫機能を持っていれば感染しても病気になることはありません。私たちの体はウイルスに感染した細胞だけを攻撃するウイルス特異的 T 細胞と呼ばれる免疫細胞を増やすことにより、ウイルスを排除することができます。ところが、臓器移植や造血幹細胞移植後の免疫抑制状態の患者さんや、免疫力が低下する HIV 感染者の方では、T 細胞の数が減ったり、機能が低下することにより、このようなウイルスでも日和見感染症と呼ばれる症状を呈し、命を脅かされることがあります。ウイルス特異的 T 細胞の働きにはヒト白血球抗原 (HLA)、T 細胞受容体 (TCR) と呼ばれる遺伝子型に關与しているため、ウイルス特異的 T 細胞の働きを知るためには、HLA 遺伝子型、TCR 遺伝子情報も明らかにする必要があります。私たちは、ウイルス特異的 T 細胞の性質を調べ、HIV 感染症や日和見感染症に対する新しい治療法を開発したいと考えています。この研究を行うことによって、免疫不全状態でウイルス感染症が問題となっている患者さんに、ウイルス特異的 T 細胞を使った新たな治療を提供することができると考えています。

2 使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液等の種類：白血球除去工程後のフィルター

献血血液等の情報：なし

3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

共同研究機関はありません。

4 研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析：☐行いません。 ☒行います。

ご提供いただいた血液の白血球除去工程後フィルターに含まれるリンパ球を、以下のように使用します。

- 1) リンパ球には T 細胞の増殖を助ける効果があるため、放射線照射した後、ウイルス特異的 T 細胞と混ぜて培養します。
- 2) HLA 遺伝子型・T 細胞受容体遺伝子を調べます。なお、遺伝子解析により個人が同定されることはありません。
- 3) リンパ球中にある、さまざまなウイルス特異的 T 細胞を検出し、HLA 遺伝子型との関連や、機能について調べます。
- 4) リンパ球にウイルスを感染させ、その性質を調べ、ウイルス特異的 T 細胞の機能を調べるための標的細胞として使用します。

- 5 献血血液等の使用への同意の撤回について
研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。
- 6 上記5を受け付ける方法
「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号	28J0039
------	---------

本研究に関する問い合わせ先

所属	国立感染症研究所エイズ研究センター
担当者	立川 愛
電話	03-5285-1111（内線 2320）
Mail	aiktachi@niid.go.jp